



★毎月一回 ときり木土曜日テイで絵画療育を実施

(年間日程については、後日お知らせいたします。)

お父さんやお母さんにサポートを頂きながら楽しく活動します。その中で集中力を高め、それぞれの個性や可能性を伸ばすことや、やり遂げた達成感が自信につながるように支援します。

😊 子どもたちが、やってみたい！おもしろそうだ！というきもちになり、生きる力を引き出す教室です。自分だけの表現を大切にしたり、みつめたいするきっかけになってくれればと思います。(大坂講師)

・開所時間：14:30～16:00(保護者様同伴でお願いします。)

※令和2年4月～令和3年3月を1クールとして活動します。(継続ご希望の場合は、ご相談を承ります。)

・内容：絵画や工作作品制作を1時間ほどで仕上げます。

(必要な材料は準備いたします。汚れても大丈夫な衣服、エフロンなどが必要になります。)

★絵画療育のねらい



- ★自分が思ったように手や指を動かして描くことが、文字を書くことにつながります。
- ★お手本を見て類似の特性を見出せるようになると、紙面を十分に使って描くことにつながります。
- ★模倣することは自分以外の世界を広げごだわいを軽減し感性の育成にもつながります。
- ★活動時間内に作り上げられることが集団の中でルールを守ることや周りに合わせることにつながります。継続して体験しながら時間の感覚や切り替える能力を養います。

★絵画療育の流れ

- ① あいさつをします。
- ② 席にすわり先生の説明を聞きます。
- ③ 先生のお手本を見ながら作成します。(こまった時は先生や周りの人に聞いて助けてもらいます。)
絵を描く以外にも工程の中で必要な手や指先を動かすこと(絵具を出す、ふたを閉める、色を選ぶ、パレットの上で混ぜる、ハサミで切る、粘土をこねる、ちぎるなど)をなるべく児童自身で行えるといいな。と思います。
- ④ 完成したら、道具を片付けます。(パレットや筆を洗うなど)
- ⑤ 先生からそれぞれの作品にメッセージをいただきます。
- ⑥ 帰りのあいさつをします。おやつをもらって帰ります。

子どもたちが作った作品は
年に1度行われる絵画展に出品します。

ご家族でごらんになり、頑張ったね！と認めてほめることが
また一つ自信につながりますね。

★講師 大坂 一成先生

プロフィール

1985年 東京造形大学彫刻科卒業(特待生)
1996年 NHKテレビ小説「走らんか！」(彫刻指導)
1997年 大阪市立美術研究所彫朔部終了(特待生) ↑ 大坂先生作
2003年 天理ビエンナーレ2003(大賞)
第2回あさご芸術の森大賞展(優秀賞)
2013年「children's poetry」個展(兵庫・あさご芸術の森美術館)
2016年 学園前アートフェスタ2016(奈良 浅沼記念館)
2017年 シンガポール国際ミニチュア彫刻展(シンガポール)
台湾国際ミニチュア彫刻展(台北)
ギャラリズム2017(大阪・ピラスギャラリー)
台湾国際ミニチュア彫刻展(台北)
現在 アトリエくじらのクー 代表

